

公民館だより

平成27年6月15日発行【第355号】

題字：前衛書家「吉川壽一」先生

発行元

吉崎公民館

福井県あわら市吉崎 8-34

郵便番号 922-0679

電話 0776(75)1205

komin-yoshizaki@city.awara.lg.jp



『一番のライバルは、自分自身!』

6月4日(木)、絶好の好天のもと吉崎小学校春季マラソン大会記録会が行われました。新学期になってのマラソン大会は、記録への挑戦です。

子どもたちは、やる気に満ちています。この日に向けて子どもたちは、マラソン練習に熱心に取り組んできました。「一番のライバルは自分自身」を合言葉に、たくさんの保護者の方が応援して下さる中、どの子児童たちも今までの練習成果を発揮し、自分の目標に向かって頑張り走ることができました。

あきらめないで完走したことが、がんばりの証です。その成果が十分発揮できたマラソン記録会となったようです。

ご協力いただいた吉崎駐在所や交通指導員の皆様、ありがとうございました。

また、ご声援をおくっていただいた保護者の皆様、地域の皆様、ありがとうございました。



お知らせ

7月25日(土) 午後5時30分から 第34回湖畔の夕べ

『“吉崎” つながりで！』



5月20日（水曜日）、福井新聞社の依頼により、福井新聞政経懇話会の講師にお招きした、双日総合研究所チーフエコノミストの吉崎達彦さまを、吉崎を代表する歴史的名所国指定「吉崎御坊跡」から4月11日にオープンした「越前加賀県境の館」まで、新旧の見どころを吉崎語り部の会の案内で探索していただきました。

浄土真宗中興の祖・蓮如上人が北陸布教の拠点として創建

した吉崎御坊と、先人たちが培ってきた吉崎の個性ある独特の歴史や伝統文化など地域の魅力に触れていただき、豊かな自然とあいまった素晴らしい景観を楽しんでいただきました。

“吉崎” つながりで、「どうしても一度、吉崎御坊を訪れたかった。希望がかないました。」と、喜んでおられたとのご連絡をいただきました。また、吉崎の蓮如さんの歴史と伝統、そして地元の誇りと財産を末永くおまもりくださいとのお言葉もいただきました。

『蓮如さんの、歴史文化に思いを馳せる！』

5月28日（木曜日）「遊行会」御一行12名様（東京都杉並区）を、福井ふるさと百景にも選ばれている「蓮如の里・吉崎」の国指定「吉崎御坊跡」にご案内しました。

高さ33メートルの山上の蓮如上人像が立つ御坊跡から望む日本海や湖に浮かぶ国の天然記念物「鹿島の森」の景観を楽しんでいただき、「本堂跡」や「上人のお腰かけの石」「お手植えのお花松」など、上人にまつわるさまざまな史跡に触れていただきました。



その後、蓮如さんの功績や、ゆかりの歴史文化に想いを馳せながら東西別院を巡りゆっくりとまち歩きを楽しんでいただきました。

また都会の喧騒を離れの一時、吉崎の自然の中で有意義な時間をお過ごしただけの様子でした。

吉崎の魅力を全国に発信し、観光を通じてまちづくりに貢献することを目的に活動している「吉崎語り部の会」が、皆さんのお越しをお待ちしております。



天然記念物『鹿島の森』探訪

5月30日(土曜日)、「鹿島の森」ウォークが行われました。蒸し暑さを感じさせる天候のもと、23名の参加者が、設定したコースを散策しました。

この森は、もともと北潟湖の中に浮かぶ島ということで、手つかずの自然が残され数百年も斧を入れた事がなく、タブ・ヤブニツキなど広葉樹林が自然のままに繁茂していて、森全体が神域とされています。参道の樹下には苔や落ち葉が堆積し、たくさんの赤手ガニが生息していて、まさに深山幽谷に踏み行った満足感が味わえる場所です。

森の真ん中辺りにある集合場所の鹿島神社前で、前吉崎公民館長・山本篤氏から蓮如上人と神社に纏わる話や古代の伝説などについての説明があり、参加者からたくさんの質問がとんでいました。

また帰りは、森の南側に整備された遊歩道を散策していただき、対岸の吉崎御坊の景観も楽しまれていました。



『グランドゴルフ大会』(吉崎体協主催)



晴天に恵まれた5月24日(日曜日)吉崎体協主催の春季グランドゴルフ大会が吉崎御山で開催されました。子供から高齢者まで幅広い年齢層の方々28名が参加しました。

木の根などトリッキーなコースでしたが、ホールインワンが出るなど皆さん汗を流しながらプレーに熱中し、和気合い合いとゲームに興じ親睦を深めていました。

朝から準備に追われた体協役員の皆さんお疲れ様でした。

福井もっとしっとこ(5)

【問い】南北朝時代の末期に創建され、寺院内の庭園が日本名勝庭園として県内最初の指定を受けた寺院で、国宝や重要文化財も有する坂井市にある寺院とは次のうちどれか。(答えは8ページ)

- A 龍谷寺 B 瑞巖寺 C 瀧谷寺 D 大湊寺



地域お興しの拠点に！（越前加賀県境の館）

4月11日には「越前加賀県境の館」がオープンいたしました。

この施設は、本市と石川県加賀市が共同で整備したもので、吉崎地域の「蓮如の里」や「鹿島の森」などを結ぶ散策ルート「吉崎・塩屋ルート」の重要な情報発信拠点となっています。玄関の中心が県境になっているのが特徴で、玄関ポーチ部分の石畳や館内フロアも県境で色分けされています。

4月にはオープンから18日間で1,672人もの予想を上回る来館者があり、幸先の良いスタートとなっています。なお、ゴールデンウィーク期間を含め休祭日には、県外からの少人数グループでの来館者が多く、中部、関西圏はもとより、東京、神奈川、広島、徳島などほか、なかには北海道や宮崎といった全国各地からの来館者がありました。

このことは、広く全国に情報発信している効果の表れであるものと思っております。

【H27.6.5 第78回あわら市議会定例会 橋本達也あわら市長6月定例会報告より引用】



『郷土の歴史を学ぶ』



6月9日(火曜日)、吉崎小学校の4年生と6年生8人が、総合学習と社会科授業の一環として郷土の歴史を学ぶため「越前加賀県境の館」を訪ねました。吉崎の長い歴史の中で、人々が受継いできた伝承文化や蓮如忌などのイベントなどを通して風土の文化を知ることはもちろんですが、「吉崎っ子」として郷土の歴史をすることは地域の魅力に触れる一歩です。

かつて寺内町として栄えた郷土・吉崎の賑わいについての説明に、児童たちは耳を傾けながら熱心にノートに記入していました。この地(吉崎・浜坂)で生まれ育った子どもたちが、これからもっと郷土の歴史、文化について理解を深め、郷土に対する誇りと愛情を持っていただき、先人が築いた繁栄と刻んだ歴史に胸を張ってほしいと思います。

県境スタンプができました

越前加賀県境の館で県境スタンプを作りました。両県に跨いでいることにちなんで福井県、石川県と半分ずつのスタンプを作り、合わせると一つの円になります。ともに力を合わせて地域活性化に取り組んでいきたいと思っています。



シリーズ The 時代『吉崎の変遷を辿る』～文化元年の吉崎大火と再建～



文化6年(西暦1809年)に、予定されていた御開山聖人五百回忌法要を準備中に、吉崎は文化元年の大火となり、東西御坊と一部の民屋を残して殆どの商家民家が類焼してしまった。この大火の被害は大きく、隣村の加賀塩屋浦へも飛火して数十戸が焼けだされ、大聖寺藩は米を供出して炊き出しをした記録が残っている。吉崎浦の8割を占める東門徒衆

はわが家の再建にとりくまざるを得なかった。これに加えて御坊維持の相手だった加賀江沼郡の御同行衆は、大聖寺藩の財政たてなおしのため、吉崎参詣停止の嚴重な達しとなって足止めされた。このようにして吉崎東御坊は経済的にも危機に直面した。そこで本山が吉崎並びに加賀江沼郡の同行中へ再興懇志納入を依頼し、その仰せ出しに協力して、越前川北同行衆の熱心な協力となったのである。

【吉崎再発見】北前船の回顧②

乗員数は北前船の大小によって異なるが、吉崎浦の船手形で調べたところ8人から13人までの乗員数が多かった。中には18人、22人と書きこまれた船手形もあったが、何らかの必要があって乗員数を増やした特殊な例であろう。船の石数も手形に記入されたものもあるが、八百石積から千石積前後の船が殆どであった。危険度の高い職の割に、賃金は安いように思えるが、北前船の乗組員の村での生活は中以上であった。即ち北前船の船頭は積荷の1割を勝手に売買できる慣例があって、一航海を無事に終えて帰れば、約百両の別途収入があったという。また船頭以外の乗員も「切り出し」といって、船全体の純益の約1割に当る百両が役職に応じて分配されていた。従って船頭を中心に働いて利益をあげればあげる程、分配金が増えるということで、仕事に意欲をもやしていた。



船頭の中には、5年位で財を蓄え中古船を買って船主になった人もいた。また中古船を見つけに大阪へ行って悪質な仲介人に金をだましとられ無一文になった話もあった。その時に面倒を見、世話をしてくれた若衆を吉崎へつれてかえり、娘の婿としたが、好きな船乗り家業は辞められず、また北前船に乗りこんだという話も残っている。

北前船の職階制は、村での生活にも浸透して、船主を見谷屋さんと呼び、三役級を十兵衛さんと屋号なみに使用した。吉崎浦の船主は他の浦の船主と異なって、東西両御坊に通じる表道の寺町、鍛冶町に居住して繁昌する門前町を形成していた。そして船主の商売が忙しいときには、乗組員の家族が手伝いに出向き賃金をもらっていた。吉崎浦ではこの人達を「でいり」と称していた。

『吉崎分団講習会』

6月6日(土曜日)、日本赤十字社吉崎分団員16名が参加して、吉崎分団講習会が吉崎公民館にて行われました。

講習内容は、赤十字健康生活支援講習指導員、日本赤十字社福井支部救急指導員・高橋ふみ子さんより、災害時の心のケアや三角巾等の使い方について、また心肺蘇生法、AED(自動体外式除細動器)の使い方、牛乳パックを使った非常食作りについての講義と実技指導が行われました。



AEDを使用した救急法の実技指導では、参加者一同真剣に一生懸命に取り組んでいました。また、救急時に役立つ「牛乳パックを使った一人用非常食セット」を実際に作るなどして赤十字分団員としての共通理解を深めました。

ただいま練習中！(吉崎小学校)



7月22日(水曜日)に福井市の産業会館で開催される「第50回交通安全子供自転車福井県大会」に向けて吉崎小学校自転車クラブの生徒が直進走行やスラロームの練習に一生懸命励んでいます。

この大会で優勝した団体は、8月5日(水曜日)に東京都内ビッグサイトで開催される全国大会に福井県代表として出場します。昨年は団体3位でしたが今年は団体優勝目指して「東京に行くぞ!」と頑張っています。

『園児と園庭の梅の木』

蒸暑い日が続いていますね～!

今年も吉崎幼稚園園庭の梅の木に、梅の実がたわわに実りましたよ。大きなふっくらとした美味しそうな実が、緑色の葉っぱの間からお顔をのぞかせていますね。収穫した梅は氷砂糖を入れて美味しい梅ジュースになるのかな～、酸っぱい梅干しになるのかな～。梅の実の収穫が楽しみです。木てっぺんの梅の実、小鳥さんのプレゼントにしようかな～。

このような豊かな環境の中育つ子どもたちを、大切に優しくそしてゆったりと見守っていきたいと思います。



駐在さん、だぁ〜い好き！ —その34—

こんにちは、吉崎駐在所の宮越通安です。

平素は、警察行政各般にわたり多大なご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。

1. 6月は「特殊詐欺予防活動強化月間」です。

オレオレ詐欺などの「特殊詐欺」被害が依然相次いで発生しています。特に高齢者から多額の老後資金を詐取する悪質なケースが続発し、本当に警戒が必要です。

福井県警察では、6月を特殊詐欺予防活動強化月間と位置付け、特に特殊詐欺に対する検挙活動及び予防活動を強化しています。

吉崎駐在所としても、特殊詐欺の撲滅のため努めておりますが、もし不審な電話がかかってきたり、**不安を感じた場合**には下記連絡先までご連絡をお願い致します。

被害に遭う前に、いったん相手からの電話を切り、家族や警察に相談することが、特殊詐欺の未然防止には何より重要です。(連絡先：あわら警察署Tel 73-0110)

また、ご近所に「お一人暮らし」「体のご不自由な高齢者」「高齢者ご夫婦世帯」等がある場合には、ご近所様による声かけ合いをいただければ幸いです。何気ない雑談が高齢者を特殊詐欺被害から救うことがあると警察では考えています。



2. 泥棒が泥棒をあきらめる瞬間ベスト10 (総編集2)

好評をいただきました「泥棒が泥棒を諦める瞬間ベスト10」の連載が終了しました。総編集として今回は再度第1位から第5までを再掲載いたします。

犯罪に遭わないために重要なことは「ちょっとした用心」です。たとえば、①自転車に鍵をかける。②車に財布やバッグを置いたままにしておかない。③外出時には必ず鍵をかけるといったことです。

皆様お一人お一人の、防犯意識の高まりが犯罪を未然に防ぎ泥棒を撃退します。

■ 泥棒が泥棒をあきらめる理由「ベスト10」(第1位から第5位まで)

- 第1位 近所の人にジロジロ見られた。(泥棒は必ず下見に来ています！)
- 第2位 ドアや窓に補助錠がついていた。
- 第3位 犬を飼っていた。
- 第4位 機械警備がついていた。
- 第5位 窓に丈夫な面格子がついていた。

次回からは新シリーズ『泥棒のものの見方・考え方(防犯の新常識)』をお送りする予定です。



今月のことば『一樹之陰』(いちじゅのかげ)

見知らぬ者同士が同じ木陰で休むことなど、この世のあらゆる関わりは前世からの因縁によるものであるということ。

本来は、「一樹の陰一河(いちが)の流れも他生(たしょう)の縁」に由来することば。同じ木陰に宿り、同じ川の水をくむのも、みな前世からの浅からぬ因縁であるから、おろそかに思っはいけないという意味です。

人と人との出逢いは大切にしていきたいですね。

【ふるさとクロスワード】

*答えの解った方は、公民館まで連絡して下さい。正解者には、年度末に素敵な賞品が当たる抽選券を差し上げます。(×切は7月8日)
先月号の回答は、「カンシヨ(甘藷)」で、Cの「富津」でした。(子は鎧)

今月の問題

パズルの中のAからEの5文字を並び替えて組み合わせ、ある言葉にして下さい。それと一番関係のある言葉は、下の3つのうちのどれでしょうか。

(A ; 神楽 B ; 運転手 C ; 猫)

1	7		12		14	18
			D			
2					15	
3		9				
	B					
	A	10			16	
4	8		13			
5		11			17	
						E
6						
	C					

【よこのヒント】

- ① ; 地学の事で、地球、特にその個体部分を研究する自然科学のこと。
- ② ; 先般、韓国女優「パク・スジン」と婚約した俳優「ペ・ヨンジュン」を崇拜しているファンは、「ペ・ヨンジュン」を〇〇様と呼んでいます。
- ③ ; あとあし。逃げ足。
- ④ ; 1976年にリリースされた新沼謙治のヒット曲は、「〇〇に来ないか」。
- ⑤ ; 初めて戦いに出る事。源頼朝の〇〇は、1159年の事で、「平治の乱」と呼ばれています。
- ⑥ ; 領主の居城を中心として発達した市街のことを〇〇と言います。対照的に、寺社の門前に形成された町を門前町と呼びます。
- ⑩ ; 朝廷。また、朝廷に仕える者。公卿とも呼ばれ、対義語に「武家」がある。
- ⑬ ; 仏教語で人間界のこと。
- ⑮ ; 仏教の僧侶が身につける布状の衣装のこと。
- ⑯ ; あわら市でもイノシシの被害がひどくなっています。各所で〇〇を設置して捕獲に努めていますが、まだまだ大変です。
- ⑰ ; 蓮如さんが吉崎御坊を建立した後、一帯には坊舎や〇〇(門徒が参詣するための宿泊所)が立ち並び、寺内町が形成されていきました。

【たてのヒント】

- ① ; 蓮如さんの御文(御文章)には、福井の藤島にあった〇〇で書かれたものがあります。現在は、東〇〇、西〇〇と別れていますが、元々は一つで本願寺5世法主綽如上人ゆかりのお寺です。
- ⑦ ; 近眼のこと
- ⑧ ; ほまれあること。名高いこと。
- ⑨ ; ごと、なな(しち)の間
- ⑪ ; ちょうどよい時期に、適当な量だけ降る雨。草木の生長に都合のよい雨。恵みの雨。
- ⑫ ; 売上高の中の原価部分。業種によって、呼び方が異なり、建設業では工事原価、製造業では製造原価というそうです。
- ⑭ ; 山や岸などの、けわしくそばだった所。きりぎりし。
- ⑯ ; 子供が成長すること。また、その家庭・経歴。蓮如さんの〇〇は、6歳の時に実母「蓮の前」さまと生き別れになり、継母にいじめられて育ちました。
- ⑰ ; 梅雨時になると雑草が大きくなっていきます。畔の〇〇、道路の〇〇など、熱くなる季節だけに大変な作業です。



おしらせ

6月22日(月曜日) 特定検診・一般検診

受付時間 8:30~10:00 会場: 吉崎公民館

福井もっとしっとこ(5)

答え C 瀧谷寺